

エコアクション21



®環境省

エコアクション21

認証番号 0006674

環境経営レポート

活動期間 2022年 9月 1日～2023年 8月31日

作成日 2023年10月31日



 **株式会社 長沢電機**

【 目 次 】

1. 事業の概要と対象範囲	1
2. 環境経営方針	2
3. 環境経営システム実施体制図	3
4. 環境目標と実績	4～10
4-1. 電力使用量	
4-2. ガソリン(軽油)使用量	
4-3. 二酸化炭素排出量	
4-4. 廃棄物等総排出量	
4-5. 水使用量	
4-6. グリーン対象商品購入比率	
4-7. 省エネ提案見積	
4-8. 環境にやさしい施工	
4-9. 地域への社会貢献	
4-10. 作業効率の向上	
5. 環境活動の取り組み(成果と課題)	11～14
5-1. 活動計画・実施	
5-2. 採用活動	
5-3. 社員教育(作業効率の向上を目指して)	
5-4. 環境教育	
5-5. 環境活動	
6. 環境関連法規制の遵守状況	15
7. 代表者による評価と見直し	16

1. 事業の概要と対象範囲

事業概要

事業所名 株式会社長沢電機

代表者 代表取締役 長澤 大

所在地 本社/〒419-0125
静岡県田方郡函南町肥田411-1
TEL:055-979-0909
FAX:055-979-1236
URL: <http://www.e-appliance.co.jp>
MAIL: info@e-appliance.co.jp

伊豆の国営業所/〒410-2123
静岡県伊豆の国市四日町287-3
TEL:055-949-5422



資本金 2,000万円

沿革

昭和47年 9月 創業

昭和54年 4月 設立

平成 3年 6月 函南町に社屋移転(現 本社)

平成20年10月 伊豆の国営業所 設立

平成23年 2月 エコアクション21 認証取得【登録番号 0006674】

平成25年 4月 パナソニック(株)エコソリューションズ社
リニューアルコンテスト2012 優秀賞受賞

平成26年 4月 大東建託(株)協力会 功績表彰

平成26年 5月 (一社)静岡県建設産業団体連合会 功績表彰

平成27年10月 パナソニック(株)中部電材営業部 商品賞受賞

平成28年 6月 パナソニック(株)エコソリューションズ社 EM工事会社 登録

平成28年10月 代表取締役 長澤 大 就任

平成30年 6月 大東建託(株)協力会 安全衛生功績表彰

令和元年 8月 特定建設業許可 更新
[静岡県知事許可(特-01)第011864号]

令和2年 9月 エコアクション21 登録・認証10年継続表彰

事業内容 生活環境事業(居住・非居住分野)における電気設備の
トータルプロデュース、プランニング、設計、施工、メンテナンス

事業の規模

活動規模	単位	第43期	第44期	第45期
		R2.9.1~R3.8.31	R3.9.1~R4.8.31	R4.9.1~R5.8.31
売上高	百万円	536	508	720
従業員	人	35	38	39
床面積	m ²	459.67	459.67	459.67

有資格者数 1級施工管理技士 9名 1級施工管理技士補 2名
監理技術者 9名 第1種電気工事士 15名

管理担当者 環境管理責任者 鈴木 紫
環境管理連絡担当者 長澤 明子

対象範囲

事業年度 第45期 令和4年 9月 1日~令和5年 8月31日

範囲 全社、全活動及び全従業員を対象とする

2. 環境経営方針

株式会社 長沢電機 環境経営方針

[基本理念]

株式会社長沢電機は、電気設備工事業に携わる事業所として地球環境に与える影響を認識し、人間と自然が調和する豊かな地球環境と限りある資源を後世に継承する為、自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

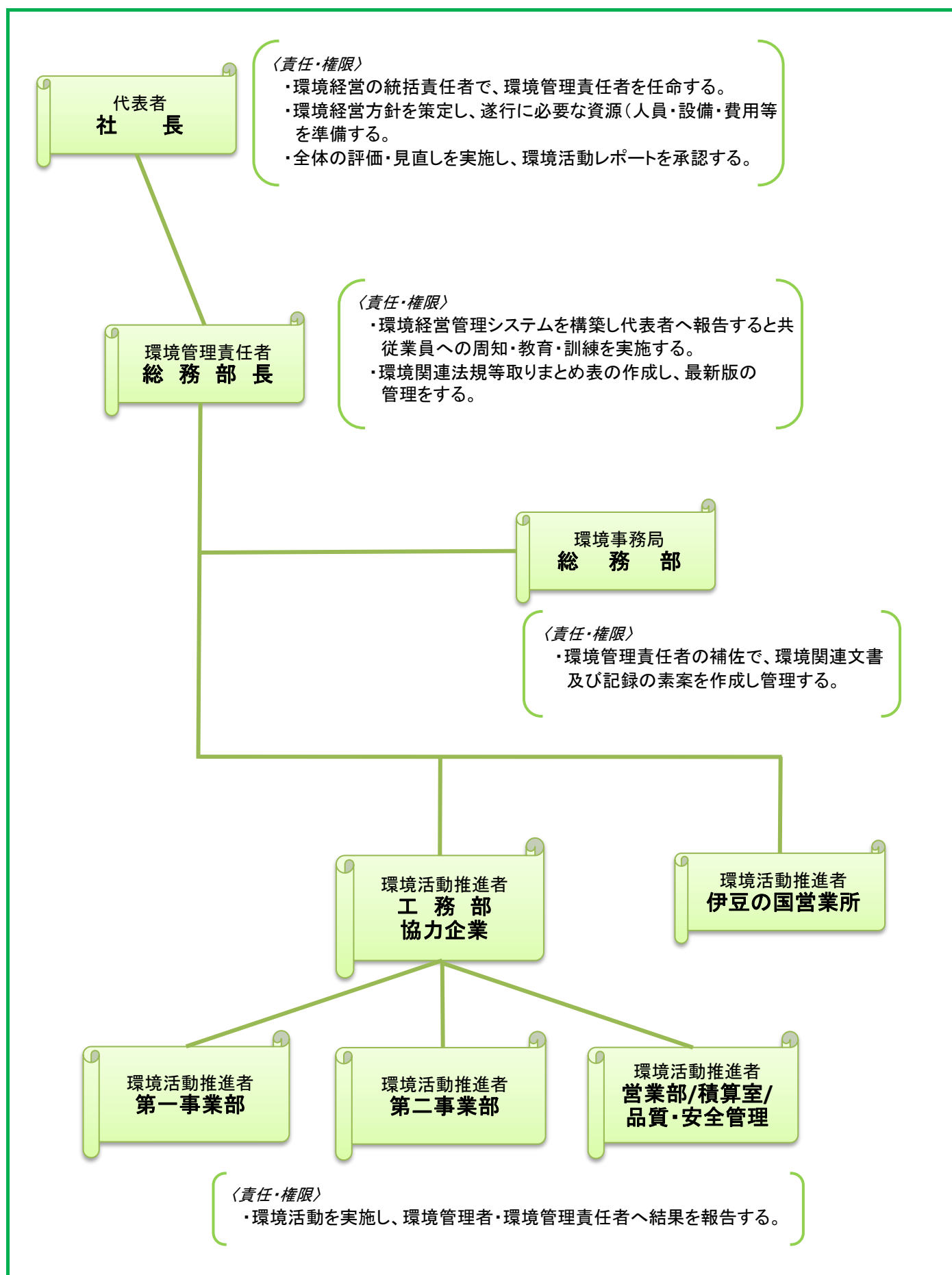
[行動指針]

1. 当社における事業活動が環境に与える影響を考え、環境経営システム【エコアクション21】を構築し、継続的な改善を行います。
 - ① 二酸化炭素排出量削減に伴う使用エネルギー（購入電力・化石燃料）の削減
 - ② 廃棄物の徹底分別による廃棄物排出量の削減・再資源化
 - ③ 節水による水使用量の削減
 - ④ グリーン購入の推進
 - ⑤ 環境に配慮した電気設備や技術商品（オール電化・太陽光発電・省エネ商品への切り替え等）の提案、推進
 - ⑥ 作業工程の見直しや新しい取り組みによる、作業効率の向上
2. 環境保全に関わる法規制等を遵守します。
3. 本方針を全社員に周知徹底し、全社員参画による取り組みを目指します。また環境レポートを社内外に公開し、社会とのよりよいコミュニケーションを実践します。

制定 平成22年 9月 1日
株式会社 長沢電機
代表取締役 長澤 大
2019年 11月 1日更新

3. 環境経営システム実施体制図

認証・登録の範囲:組織全範囲



4.環境目標と実績

環境経営目標と実績

項目4は直近3年の実績平均値の0.5%削減、1.2.3は直近3年の実績平均値の0.2%削減を目標としました。

項目6は直近3年の実績平均値の1%削減、項目8は直近3年の実勢平均値の3%上昇を目標としました。

また、9.10.11については具体的な目標数値の設定をせず活動のみとしました。

項目5は再資源化率90%を、項目7は対象商品購入比率30%をそれぞれ目標数値として設定しました。

* 購入電力の排出係数については、平成30年度事業者別二酸化炭素排出係数(東京電力エナジーパートナー株式会社)の
実排出係数 0.468Kg-CO₂ にて算出とします。

* 化学物質の使用はありません。

* LPGは使用量が少ないので、二酸化炭素排出量総量で見えています。

結果については、下記の基準にて表示しました。

○・・・目標達成

△・・・目標未達成 目標値 +2.5%未満

□・・・目標未達成 目標値 +2.5%以上 +5%未満

×・・・目標未達成 目標値 +5%以上

	単位	第42期	第43期	第44期	基準値 第42～44期 実績平均	第45期 R4.9～R5.8			第46期	第47期	第48期
1. 電力使用量	kwh	30,693	35,053	38,696	34,814	目 標 結 果	34,744 38,782	×	-0.2%	-0.2%	-0.2%
2. ガソリン(軽油)使用量	リットル	18,682	18,685	20,153	19,173	目 標 結 果	19,135 22,816	×	-0.2%	-0.2%	-0.2%
3. 二酸化炭素排出量	Kg-CO2	58,194	60,228	65,403	61,275	目 標 結 果	61,152 71,752	×	-0.2%	-0.2%	-0.2%
4. 廃棄物等総排出量	t	85.9	50.8	39.6	58.8	目 標 結 果	58.5 121.1	×	-0.5%	-0.5%	-0.5%
5. 廃棄物再資源化率	%	-	84.1	88.1	-	目 標 結 果	90.0 94.2	○	90.0%	90.0%	90.0%
6. 水使用量	m³	121.5	143.5	123.0	129.3	目 標 結 果	128.0 136.0	×	-1.0%	-1.0%	-1.0%
7. グリーン対象商品 購入比率	%	-	36.2	33.9	-	目 標 結 果	30.0 37.1	○	30.0%	30.0%	30.0%
8. 省エネ提案見積	件	162	249	220	210	目 標 結 果	217 233	○	+3%	+3%	+3%
9. 環境にやさしい施工					・事前準備の徹底により効率的な施工 ・余剰材料の活用						
10. 地域への社会貢献					地域清掃の協力						
11. 作業効率の向上					作業工程の見直し、新しい取り組み						

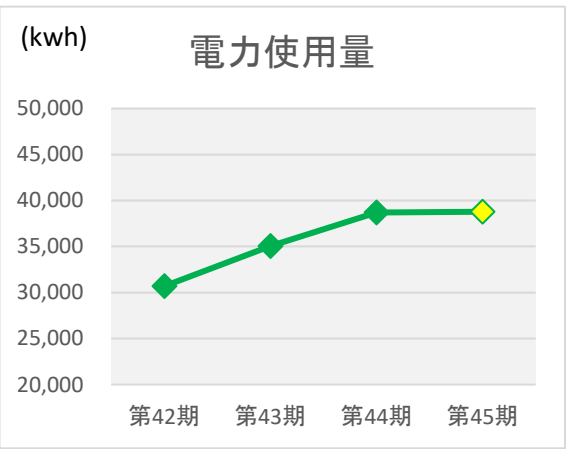
4-1. 電力使用量

《取り組み内容》

- ・エアコンの設定温度を夏27℃、冬24℃にする
- ・エアコンのフィルター清掃をこまめに行う
- ・スイッチオフによる照明、OA機器の電力削減
- ・ノー残業デーを設ける(毎週火曜日18:00で退社)

《電力使用量の削減》

	単位	第42期	第43期	第44期	基準値 第42～44 期実績平均	第45期 R4.9～R5.8			第46期	第47期	第48期
使用量	kwh	30,693	35,053	38,696	34,814	目 標 結 果	34,744 38,782	×	-0.2%	-0.2%	-0.2%

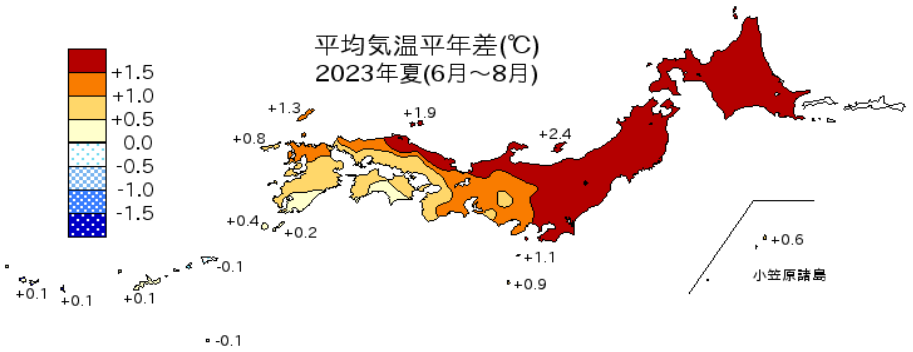


《電力使用量の月別推移》

	単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
44期使用量	kwh	2,559	2,294	3,059	3,323	4,377	3,822	2,816	2,144	2,648	3,458	4,434	3,762
45期使用量	kwh	2,865	2,583	2,845	3,613	4,413	3,701	2,364	2,081	2,251	3,381	4,656	4,029

国土交通省の気温観測の統計によると、2023年の6～8月の日本の平均気温偏差は+1.76dpとなり、1898年の統計開始以降で最も高くなった。

出典：気象庁ホームページ
[気象庁 | 報道発表資料 \(jma.go.jp\)](https://jma.go.jp)



「平均気温平年差(°C)」(気象庁ホームページより)

《取り組みの評価》

電力使用量は増加した前期とあまり差が無く、0.22%増加した。
夏場の気温上昇による空調利用や、感染症対策の換気による空調効率の悪化が主な原因として考えられる。
特に気温上昇については、データの通り2023年の夏が著しい酷暑であったため、空調の利用が増えた。

《今後の取り組み》

気温変動に対する対応は節約を留意しつつも、熱中症対策に考慮してエアコンの過度な使用制限は行わない。不要な電源OFFへの意識の向上等、社内啓発活動を継続していく。

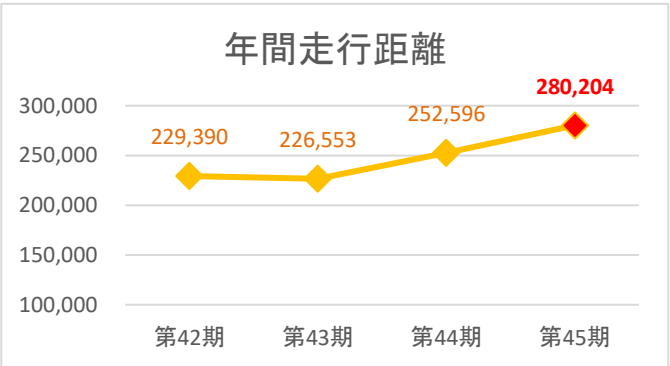
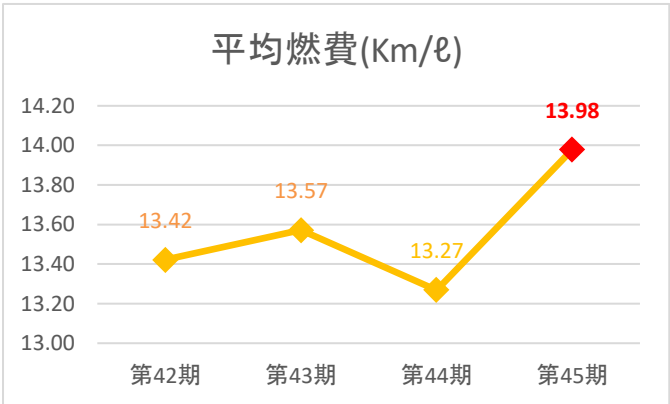
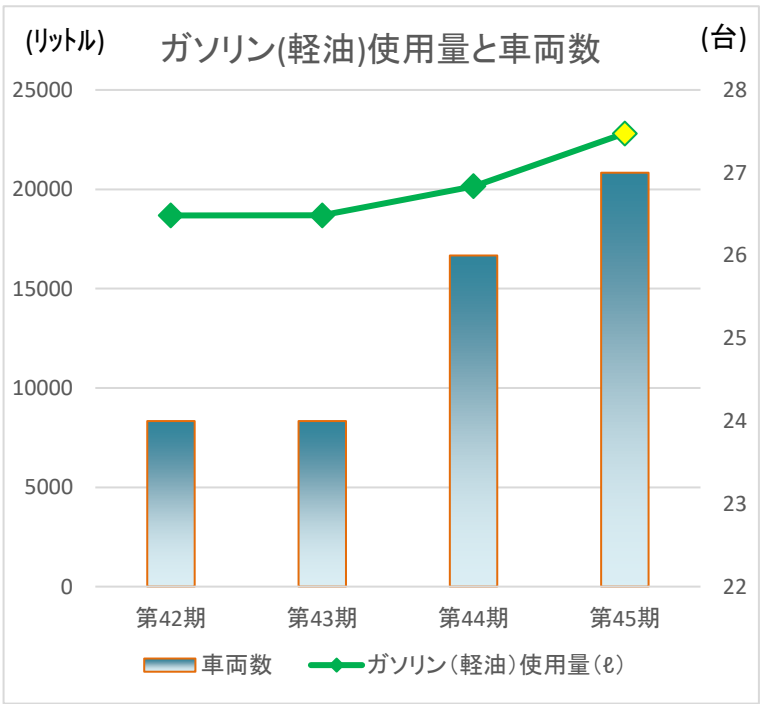
4-2. ガソリン・軽油使用量

《取り組み内容》

- ・車両の定期的な整備点検を行う(毎月末)
- ・急発進・急加速の禁止
- ・不必要なアイドリングの禁止

《ガソリン・軽油使用量の削減》

	単位	第42期	第43期	第44期	基準値 第42～44 期 実 績平均	第45期 R4.9～R5.8			第46期	第47期	第48期
使用量	リットル	18,682	18,685	20,153	19,173	目 標 結 果	19,135 22,816	×	-0.2%	-0.2%	-0.2%



《ガソリン・軽油使用量の月別推移》

	単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
44期使用量	リットル	530	1,640	1,730	1,724	1,513	2,120	1,579	1,747	1,346	2,089	2,187	1,947
45期使用量	リットル	2,210	1,952	1,883	1,996	1,463	2,301	1,655	1,316	2,044	1,903	1,990	2,103

《取り組みの評価》

従業員増加に伴い車両を1台増車したが、平均燃費が前期に比べ、5.3%改善した。
現場が遠い工事の受注が多かったため、走行距離が10.9%伸び、ガソリン・軽油使用量も増加した。
点検表提出期日を設けたことで、点検がより確実に月末に徹底できた。

《今後の取り組み》

整備点検時だけでなく、車内の美化活動を図るため、抜き打ち点検を行う。
一台一台の燃費の悪化を防ぐため、パーツの摩耗などに特に気を付ける。
また、環境に配慮し、燃費を意識した運転を引き続き行うように社員へ啓発していく。

4-3. 二酸化炭素排出量

《取り組み内容》

- ・二酸化炭素排出量減少に繋がる取り組みを継続する
- ・電力量、ガソリン・軽油使用量を減らすための取り組みを積極的に行う

《二酸化炭素排出量の減少》

	単位	第42期	第43期	第44期	基準値 第42～44 期実績平均	第45期 R4.9～R5.8			第46期	第47期	第48期
排出量	Kg-CO2	58,194	60,228	65,403	61,275	目標 結果	61,152 71,752	×	-0.2%	-0.2%	-0.2%

《取り組みの評価》

ガソリン・軽油使用量の増加、電力使用量の増加により、二酸化炭素排出量は増加してしまった。

《今後の取り組み》

二酸化炭素排出の目安を示して、社員の意識向上を図る。
今までの数値を社員の目につきやすいように報告する。

4-4. 廃棄物等総排出量

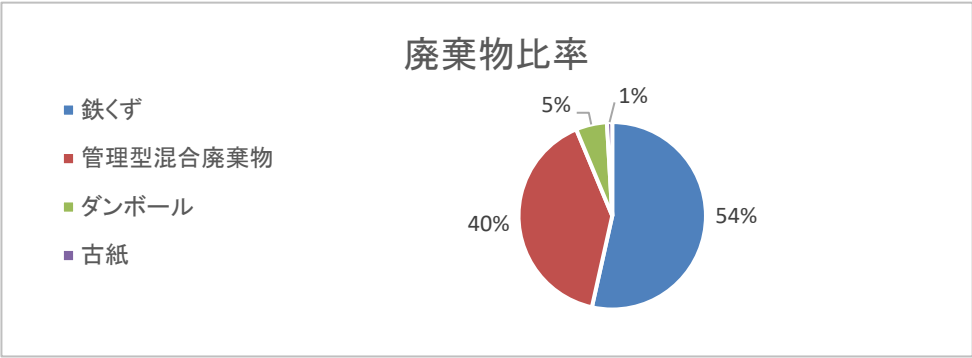
《取り組み内容》

- ・ペーパーレス化を進め、書類をPDFデータ保存をする
- ・コピー用紙の両面使用
- ・優良認定産廃処理業者と委託契約を更新する
- ・リサイクル品の分別回収の徹底



《廃棄物排出量の削減・再資源化率の向上》

	単位	第42期	第43期	第44期	基準値 第42～44 期実績平均	第45期 R4.9～R5.8			第46期	第47期	第48期
排出量	t	85.9	50.8	39.5815	58.8	目標 結果	58.5 121.1	×	-0.5%	-0.5%	-0.5%
再資源化率	%	-	84.1	88.1	-	目標 結果	90.0 94.2	○	90.0%	90.0%	90.0%



《取り組みの評価》

特に照明器具LED化に伴う改修工事が増加したこともあり、全体の廃棄物量はかなり増加した。
排出廃棄物において鉄くずの割合が多かったため、排出量はは増えたものの再資源化は目標達成

《今後の取り組み》

混合廃棄物を再資源化できるように分別を継続する。
更なるペーパーレス化を目指し、PDF保存の書類を増やしてデータでの確認を行う。

4-5. 水使用量

《取り組み内容》

- ・水を出しっぱなしにしない
- ・社用車洗車時の節水を心がける

《水使用量の削減》

	単位	第42期	第43期	第44期	基準値 第42～ 44期 実績平均	第45期 R4.9～R5.8			第46期	第47期	第48期
使用量	m ³	121.5	143.5	123.0	129.3	目 標 結 果	128.0 136.0	×	-1.0%	-1.0%	-1.0%

	単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別使用量	m ³	10.5	10.5	11.5	11.5	10.5	10.5	11.0	11.0	13.5	13.5	11.0	11.0

《取り組みの評価》

前年削減に成功したのに対し、水の使用が増加してしまった。

《今後の取り組み》

今までの取り組みを継続し、社員の意識が常に持てるように啓発を続ける。

4-6. グリーン対象商品購入比率

《取り組み内容》

- ・文房具のエコマーク商品の優先購入

《グリーン対象商品購入比率の向上》

	単位	第42期	第43期	第44期	基準値 第42～ 44期 実績平均	第45期 R4.9～R5.8			第46期	第47期	第48期
購入比率	%	-	36.2	33.9	-	目 標 結 果	30.0 37.1	○	30.0%	30.0%	30.0%

	単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別購入比率	%	42.9	32.6	55.1	74.3	22.5	43.1	40.8	28.6	45.8	35.5	12.4	35.1

《取り組みの評価》

エコマーク商品を選択する意識は徹底している。グリーン対象商品購入比率による目標設定に変更し、43期から三期続いて目標達成することができた。

《今後の取り組み》

エコマーク商品を選択できるよう、社員に引き続き促す。
まとめ買いによる購入費削減や、現在使用している商品の見直しなどを継続する。

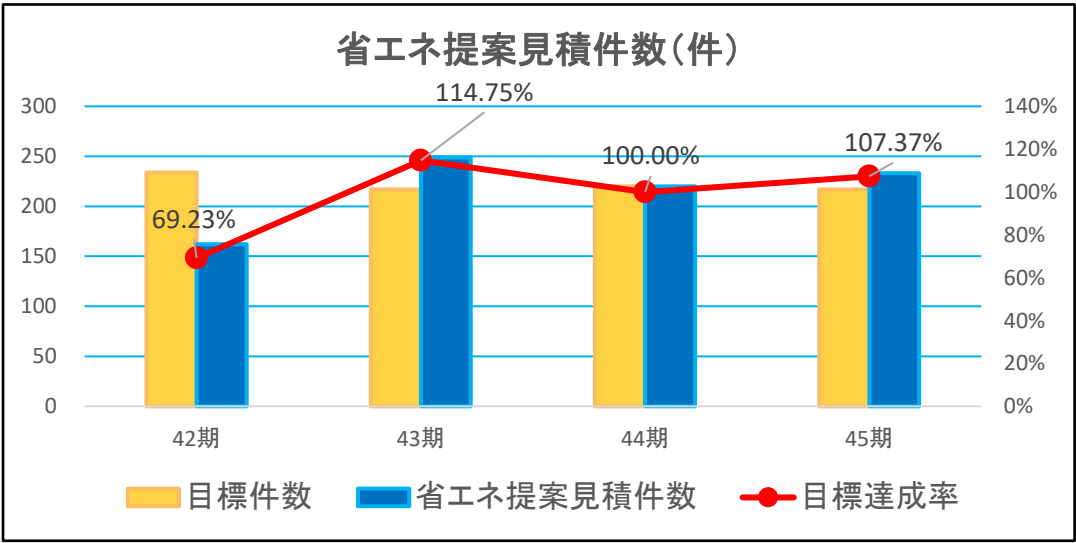
4-7. 省エネ提案見積

《取り組み内容》

- ・環境配慮型工事・商品のための情報収集
- ・省エネ見積の積極的な提案活動
- ・環境保護について啓発活動を行う

《省エネ提案見積件数》

	単位	第42期	第43期	第44期	基準値 第42～ 44期 実績平均	第45期 R4.9～R5.8			第46期	第47期	第48期
使用量	件	162	249	220	210	目 標 結 果	217 233	○	+3%	+3%	+3%

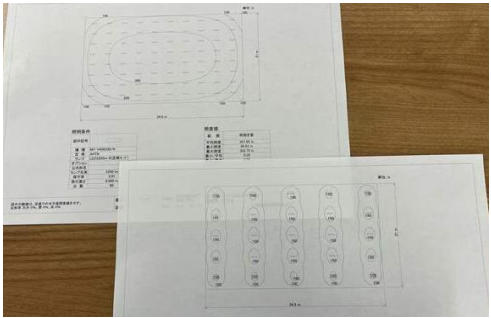
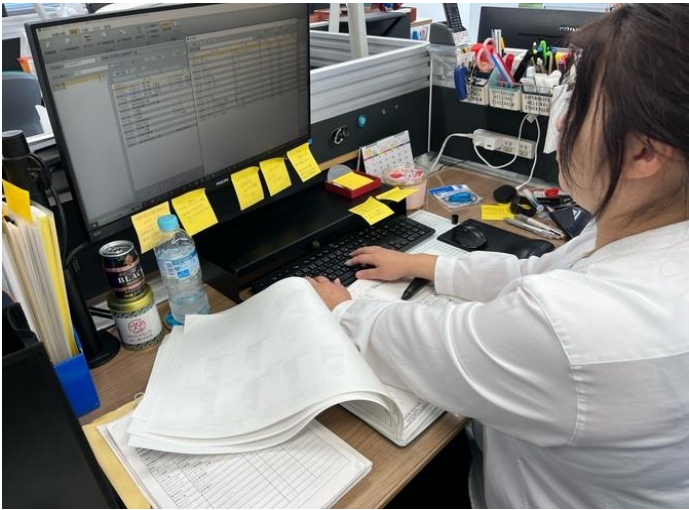


《取り組みの評価》

お客様のLED化への意識向上もあり、今期は目標達成できた。
また、新しい商品に対する情報収集も行っている。
提出の際に具体的な内容を盛り込んだ提案書も添付する等工夫している。

《今後の取り組み》

蛍光灯、電球の生産終了に伴い、特にLEDのお客様ニーズは高まっているので、それぞれのお客様に合わせた提案を続ける。
また、より省エネにつながる商品やシステムの情報を積極的に収集していきたい。



4-8.環境にやさしい施工

《取り組み内容》

- ・事前準備の徹底による効率的施工の実施
- ・余剰材料の活用

《取り組みの評価》

事前準備の徹底により効率的な作業を進める物件が増えた。
倉庫内にある余剰となった材料の活用を積極的に行った。
印刷物ではなくデータでの確認とスケジュール調整により効率化が進んでいる。
iPadを活用し、図面をデータにて管理・確認するようになってきた。



《今後の取り組み》

引き続き環境を意識した施工を心がけていく。
施工方法の向上を目指し、技術習得・資格取得を促す。



4-9.地域への社会貢献

《取り組み内容》

- ・近隣地域の清掃
- ・地域商工会主催のまつりへの参加

《取り組みの評価》

清掃活動は定期的に行うことができた。
地域のまつりは感染症流行状況を鑑み、参加を控えた。

《今後の取り組み》

来年度は新社屋への移転も控えているため、
移転後の地域との関わり方も模索していきたい。



4-10.作業効率の向上

《取り組み内容》

- ・工務班ごと工程会議を行い、効率の良い作業を目指す
- ・材料発注方法のスリム化や、新たな作業方法の検討

《取り組みの評価》

組織単位で会議を実施、作業報告・工程確認を行っている。
円滑な工事の割り当てを進めている。
部の中で班体制をつくり、風通しの良い組織を目指して活動している。

《今後の取り組み》

定期的に各組織ごとの会議を継続し、作業向上に向けた連携をしていく。
報連相の徹底を図るようにする。



5. その他の環境活動の取り組み(成果と課題)

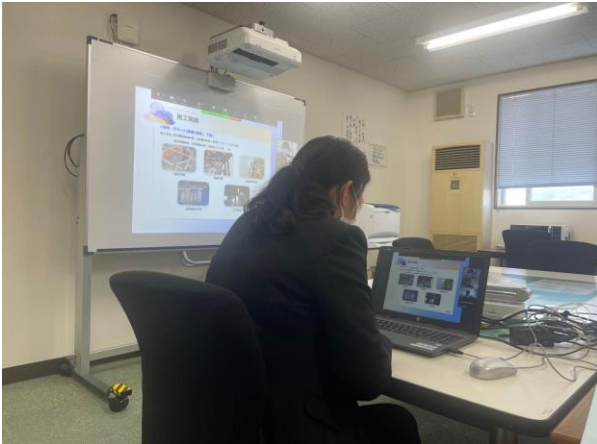
5-1. 活動計画・実施

≪活動計画表≫

エコアクション2.1			45期活動計画表 (R4.9~R5.8)			取組については、半期に半計報告をしたのち、下記の目標に掲げる												 株式会社 長沢電機	
	取組	取組内容	作業時期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				
1	電力使用量の削減	エアコンの設定温度を夏27℃、冬24℃にする						—	通年継続取組中	—									
		エアコンのフィルター清掃をこまめに行う		実施日	9/9			12/9			3/10			6/7					
		エアコンの定期点検実施(年4回)	9月 12月 3月 6月	実施日	9/9			12/9			3/10			6/7					
2	ガソリン(軽油)使用量の削減	スイッチオフによる無駄な電力削減						—	通年継続取組中	—									
		ノー残業デーを設ける (毎週火曜日18:00で退社)						—	通年継続取組中	—									
		不要なアイドリングの禁止						—	通年継続取組中	—									
3	ガス使用量の削減	給湯機・給湯機の停止						—	通年継続取組中	—									
		車庫の定期的な点検も行う、毎月月末検表を記入・提出する		配布日	9/29	10/28	11/29	12/26	1/31	2/27	3/27	4/27	5/29	6/28	7/28	8/30			
		点検表の毎月提出も目標とする (月初3営業日以内)		回収日	10/5	11/7	12/7	1/10	2/6	3/6	4/4	5/8	6/6	7/6	8/8	9/6			
4	二酸化炭素排出量の削減	ガスも無駄にしない						—	通年継続取組中	—									
		二酸化炭素排出削減に繋がる取り組みも継続する						—	通年継続取組中	—									
		電力室、ガソリン使用料も減らすための取り組みも積極的に行う						—	通年継続取組中	—									
5	廃棄物排出量の削減	コピー用紙の両面使用(裏紙・レイの活用)						—	通年継続取組中	—									
		リサイクル品の分別回収の徹底						—	通年継続取組中	—									
		延長保証期間満了後と委託契約を締結する						—	通年継続取組中	—									
6	水排水量の削減	水を使わずに洗うにしない						—	通年継続取組中	—									
		社用車洗車料の削減も心がける						—	通年継続取組中	—									
								—	通年継続取組中	—									
7	グリーン購入の推進	文房具のEコマース商品の優先購入						—	通年継続取組中	—									
		環境配慮型工事・商品のための情報収集						—	通年継続取組中	—									
		省エネ製品の積極的な提案活動						—	通年継続取組中	—									
8	環境配慮型工事 技術商品の提案、推進	5Nも活用した情報発信						—	通年継続取組中	—									
		環境保護について啓発活動も行う						—	通年継続取組中	—									
								—	通年継続取組中	—									
9	環境にやさしい施工	仕様前通りの施工						—	通年継続取組中	—									
		材料の活用(廃材回収)						—	通年継続取組中	—									
								—	通年継続取組中	—									
10	地域への社会貢献	近隣地域の清掃						実施日						7/7					
		地域商工会主催のまつりへの参加		実施日															
11	作業効率の向上	工務組ごと工程会議を行い、効率の良い作業を目指す						—	通年継続取組中	—									
		材料搬送方法の効率化や、新たな作業方法の検討						—	通年継続取組中	—									
		パソコン・タブレット端末の活用(月1回) 毎月15日を筆事目とする	書類・パソコン・書類・タブレット	発信日	9/22	10/15	11/17	12/9	1/18	2/14	3/25	4/18	5/30	6/15	7/14	8/10			
12	事故及び緊急事態における 対応・訓練	目標達成(45期目標 粗利¥180,000,000- 事務所目標・経費目標後)						—	通年継続取組中	—									
		貸金庫でマニュアルの作成・更新						—	通年継続取組中	—									
		安否確認訓練(社内ネットワーク活用・年4回) 送信後3時間以内返信	11月 1月 5月 8月	実施日				11/4		2/3			5/12			8/4			
		前・後の点検点検年2回	2月 6月	実施日					2/3						8/4				

年間作業を一覧にまとめた活動計画表は、実施日付を記載して詳細なものにした。
活動間隔が分かりやすくなり、活動準備を円滑に進められるようになった。
一覧にまとめる事で活動内容を社員で共有し、計画的に作業を行う事が出来た。
作業の漏れがないよう、引き続き計画表を活用していく。
それぞれの作業の手順や結果報告もデータ管理している。

5-2. 採用活動



就職セミナーへ出展をし、採用活動を積極的に行った。
(令和5年3月1日 開催)
前年から始めた工務社員からの仕事紹介を、継続して行った
現場での作業動画を流しながら説明することで、より具体的な内容を盛り込むことができた。
このセミナーをきっかけに、実際に学生から応募があり、2024年卒内定者を出すことができた。
今後も人材確保のための活動を進めていく。

5-3. 社員教育(作業効率の向上を目指して)

《研修・資格取得フォロー》



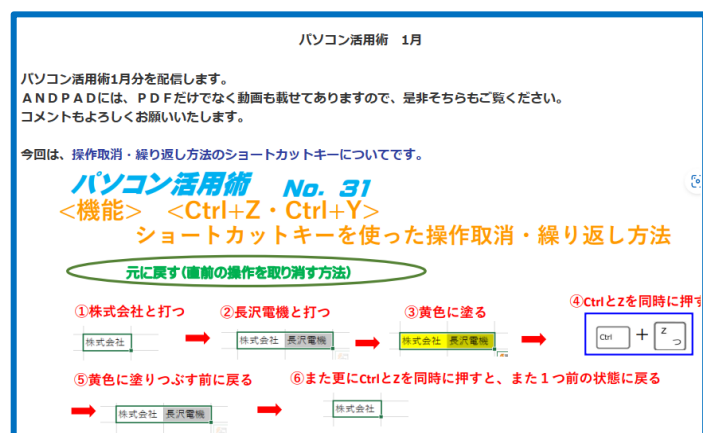
新入社員対象の研修では、社会人としての心構えや業務作業のレクチャーを中心に実施した。
(入社後約1週間 実施)

入社2年目以降5年未満の社員に対しては、仕事に対する姿勢を改めて見直したり、情報や仕事の悩みを共有できる場として、フォローアップ研修を行った。

(令和5年5月12日 実施)

業務に必要な資格取得を目指す対象者に、資料や問題を渡し、試験対策を促したり、試験時期の案内をしたりなど、フォロー活動をしている。

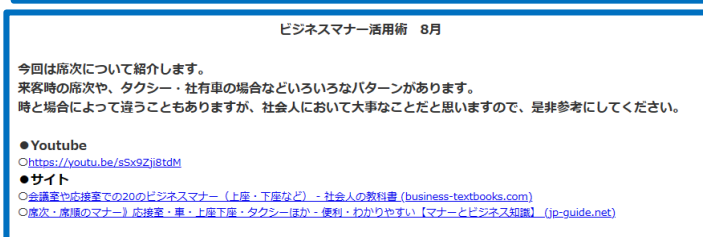
《パソコン活用術・ビジネスマナー活用術》



作業効率向上を目的として、excel等業務で使える活用術を作成し、2ヶ月に一回配信をしている。また、文面だけでなく実際の操作手順を撮影し、動画による説明も掲載している。

社内アンケートで社員からの配信内容等の要望を聞き、それに沿った配信をしている。

今期からビジネスマナーについての活用術も隔月で配信している。



《安全研修》

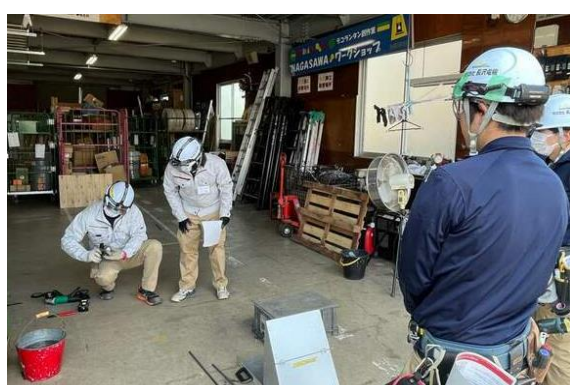
安全研修を定期的に行い、安全作業に努めている。

上期は数名の班に分かれてKYについての討議を行った。
討議内容「写真から読み取る 危険箇所・予知・リスクアセスメント」
代表者が意見発表を行った。

(令和4年11月11日 実施)

下期は社内にて安全研修会を行った。
現場での事故を防ぐ為に、昇降柱・工具使用時の注意点等を実技演習し、安全に対する意識を高めた。
工具使用については、油圧工具、軽量開口補強方法、切断工具、梯子・脚立使用方法の4つのブースに分けて行った。

(令和5年5月12日 実施)



《三菱電機照明工場視察研修》

45期は三菱電機照明株式会社様にご協力いただき、掛川工場視察研修を行った。

作業状況と感染症対策を考慮して、2日に分けて社員の半数ずつで視察をした。

掛川工場(北工場・南工場)の見学と三菱電機照明株式会社様の製品についての研修に参加させていただいた。

普段現場で取付作業を行っている照明器具が作られる過程を目にすることができる機会となった。

また、施工している立場で、施工についての質問やより確実な作業を見据えた施工方法の提案、色やサイズ等の要望など、多岐にわたる意見交換を行うことができた。

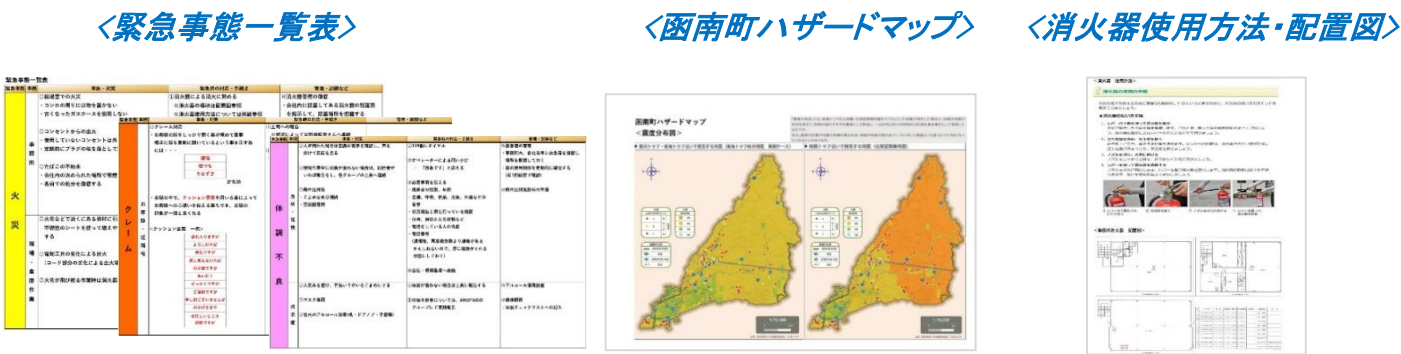
(令和5年4月11日、4月18日 開催)



5-4. 環境教育

《緊急事態一覧表 更新》

社内ネットワークにて緊急事態の対応について周知している。
また、現場作業で出かける社員が多い為、利用している施工管理アプリにも掲載し、どこにいても閲覧できるようになっている。
緊急時、社員がそれぞれ行動できるようにしていく。



《社内ネットワーク 安否確認訓練》

訓練実施日：年4回配信(11月・2月・5月・8月)

- 訓練内容：① 社内で利用しているネットワークの「安否確認」を利用し、情報伝達送信・返信を行う
② 情報受信に不備が生じた社員には、再設定を行ったうえで再送信し返信を行う

11月	ANDPAD お知らせ 当日朝(時間指定なし)・配信時 3時間以内の返信 37/38 居場所記入率 35/38 1名メール設定不備→修正後受信確認
2月	ANDPAD お知らせ 当日朝(時間指定なし)・配信時 3時間以内の返信 32/35 居場所記入率 28/35 1名有休時長期外出・貸与携帯電話所持→帰宅後確認
5月	ANDPAD お知らせ 配信時のみ 3時間以内の返信 23/37 居場所記入率 37/37 朝のお知らせが無かった結果、返信が全体的に遅くなった。
8月	ANDPAD お知らせ 一週間前(時間指定なし)・当日朝(時間指定なし)・配信時 3時間以内の返信 25/37 居場所記入率 35/37 1名貸与携帯電話の端末変更時のメール引き継ぎトラブル→修正後受信確認

45期では居場所記入への意識改善ができたが、目標であった3時間以内での返信については達成できなかった。

46期はより確実な全員返信を目指し、「送信後3時間以内に確認返信」を目標とする。
また、より効果的な訓練の方法を探るため、時間予告の仕方を少しずつ変更する。
居場所の記入が揃うように周知徹底していきたい。

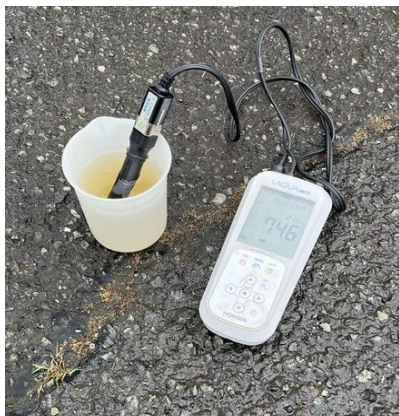
《クレーム対応》

41期よりクレームについて社内ルールを改め、報告・検証する体制となっている。
45期は、2件のクレームがあった。
原因と対策を明確にして、同じようなクレームが再び発生しないようにしていく。

5-5. 環境活動

《浄化槽法定検査》

浄化槽法定検査を受けた。検査の数値等は「良好」だった。
(令和5年5月31日 実施)



《エアコン点検》

エアコンの簡易点検を行った。
(令和4年9月9日、12月9日、令和5年3月10日、6月7日 実施)
4回とも異常は見つからなかった。



《消火器点検》

消火器の点検・訓練を行った。
2回とも異常や期限が近いものは見つからなかった。
(令和5年2月3日、8月4日 実施)



6. 環境関連法規制の遵守状況

令和5年 8月31日評価

環境法規制等の名称	該当する設備・項目	法的要求事項の内容及び基準	遵守記録	評価 ○ 適正 △ 改善中 × 不完全
廃棄物処理法	金属くず・段ボール	産業廃棄物分別・保管基準の遵守	適正分別、保管場所、保管場所の表示	○
	廃プラスチック	産業廃棄物の収集・処理委託基準の遵守	処理委託契約書	○
	廃ガラス	産業廃棄物管理票による管理	マニフェスト管理・伝票保存	○
	蛍光灯・水銀灯	管理票交付状況の県知事への年度報告	管理票交付状況報告書 電子マニフェスト	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例		産業廃棄物処理委託業者の能力確認	優良認定産廃処理業者との委託契約締結	○
函南町一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物	一般廃棄物の分別排出	適正分別	○
建設リサイクル法 (元請けの場合)	建設副産物	建設副産物リサイクル計画書	請負契約書交付(工事施工計画書)	○
		再資源化完了報告書	実施(完了)報告	○
PCリサイクル法	パソコン・モニター	OA機器の収集	OA機器の回収業者委託	○
家電リサイクル法	テレビ・冷蔵庫・家庭用エアコン・洗濯機	特定家庭用機器の適切な廃棄	家電リサイクル券の発行	○
自動車リサイクル法	自動車	使用済自動車の再資源化	リサイクル費用預託・リサイクル券受取	○
騒音規制法、振動規制法、静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定建設作業	特定建設作業を行う際の届出	特定建設作業を行う際の届出提出、規制時間、作業日の厳守	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	業務用空調機	廃棄フロンの適切な処置 簡易点検の実施	フロン回収登録業者への委託 4半期に一回の点検	○
グリーン購入法	文房具・什器類	環境物品の購入推進	グリーンマーク付与の文房具購入推進	○
浄化槽法	浄化槽	保守点検の実施 水質検査	3ヶ月に1度 年1回	○
建設業法		建設業許可の届出	5年毎に更新	○
電気工事業の業務の適正化に関する法律		電気事業の運営	経済産業大臣の許可・工事基準の遵守	○
消防法	危険物	火災の予防	危険物取扱と火災予防対応	○

環境関連法規の遵守状況を確認したところ、違反はありませんでした。

また、関係当局よりの違反等の指摘並びに利害関係者からの苦情・訴訟も過去3年間ありません。

7. 代表者による評価と見直し

	2023/10/31	評価者: 代表取締役 長澤 大
収集した資料	①エコアクション21システムの構築内容 ②評価機関のシステム運用状況 ③目標達成状況と活動計画実施状況	
評価内容	①環境経営システムが有効に機能しているか ②環境への取り組みは適切に実施しているか	
環境管理責任者の 改善意見	遠方施工現場の増加、改修工事による産業廃棄物の増加、コロナ対策による電力使用量の増加など、目標達成ができなかった項目は多かったものの、産業廃棄物の再資源化率の上昇や省エネ提案見積の増加など、一定数の活動成果を出すことができた。 環境経営の取り組みに重点を置き、新たな取り組みを加えつつ、既存の社有車点検や車内清掃活動を更に強化していく事により、作業効率の向上に繋がっていきたい。	
社長の評価結果	新型コロナウイルスが5類となったが、感染症対策は引き続き継続が必要になる中で、売上高が大幅に増加、営業部の活躍による新たな顧客獲得や大型物件の受注など、当社の仕事の流れが変化してきた一年であった。環境目標と実績の乖離が多くなり、目標の見直しを検討すべきと考える。その上で社員が作業しやすい環境を整える工夫や体制づくり、社内ルールの確立を今後の課題としてもらいたい。	
変更の必要性の判断	①環境経営方針 必要 ☒ 不要 ②環境経営目標・活動計画 ☒ 必要 不要 ③実施体制 必要 ☒ 不要	[社長所見] 数値目標等の見直しを求めたい
環境管理責任者 への指示事項	数値目標の見直しの検討と、新たな環境経営に繋がる取り組みの創出を求める。	

